



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2010. 1月号



年の初めにあたりご挨拶をさせていただきます。干支も丑年から寅年に変わりました。昨年は丑のようにゆっくり、一步一步ゆっくりと地に着いた1年でありたいと願いましたが、世界での不景気が吹き荒れ厳しい社会となりました。そのような状況の中にあっても、地域博物館としての役割を何とか果たしたいと職員一丸となって努力をし、無事に1年を終わることができました。

今年は寅年、「虎の子渡し」の喩えのように、苦しい予算のやりくりの年になりますが、職員一致団結し、この厳しい状況を乗り越え、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」のように何事に対しても積極的に行動し、少しでも明るい状況になればと考えております。

地域情報の発信が博物館の使命と考えておりますので、今後とも皆様のご協力・ご指導を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

平成22年1月

博物館長 明石 新

「特別編 相模国府の考古学」 開催

12月20日(日)、地域速報展「相模国府の発掘調査」の開催に合わせ、財団法人かながわ考古学財団の柏木善治氏を迎えて「相模国府の考古学」と題した講義と地域速報展の展示解説が実施されました。柏木さんは湘南新道関連遺跡群の調査を担当され、相模国庁脇殿の存在をつきとめられました。



▲ 参加者の熱気に包まれた講演会場

◀ 開催中の地域速報展 展示解説に聞き入る参加者



当日は95名の考古学ファンが参加して講堂は満席となる中、豊富な写真と図によるていねいな解説によって相模国府研究の最新情報が紹介されました。

平塚市博物館・財団法人かながわ考古学財団 共催 平成21年度地域速報展

相模国府の発掘調査 - 湘南新道関連遺跡 ・神明久保遺跡の調査成果から -

開催期間 2010年1月24日(日)まで

平成21年度 第2回 考古学入門講座

城の考古学 その2

「城」の定義やイメージは様々です。代表的なイメージはやはり世界遺産でもある姫路城の優美な建造物群と石垣、それを織り成す巧緻な縄張りではないでしょうか。しかし、現在多くの人々を魅了する「城」のほとんどは、中世から近世への過渡期に一瞬の輝きを放った、日本の城の到達点を示しているものばかりであり、すべての「城」をこのイメージを当てはめて語ることはできません。

ここに至るまでの多種多様な「城」の在り方が我々に何を語ってくれるのか、それを解明するためにはどのような知識が必要なのか・・・

第2回は城の構造と平塚市内と周辺の城館を解説します。

日時：1月23日(土) 午後2時～3時30分

講師：栗山雄揮(平塚市博物館)

場所：博物館講堂

申込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。

締切：1月15日必着。

定員：80人(多数の場合抽選)

虫こぶの世界

2010年1月9日(土)～2月14日(日)



◀ ガマズミミケフシ

▼ ジャケツイバラハオレフシ



植物の葉や茎が奇妙な形に膨らんでいる様子を見たことはありませんか？赤くて丸くて何か実のようだったり、毛に覆われていたり、縮れていたり、白のような形をしていたり…そんな植物にできる"こぶ"のうち、昆虫が原因のものを中心に紹介します。

"虫こぶ"は昆虫が植物に形を変えさせて、その中を安全なすみかとしているものです。虫こぶを半分に割ってみると、昆虫の幼虫が中にいるのが観察できます。

虫こぶなんて聞いたことないよ、という方も多いかもしれませんが、実は身近なところにもたくさんあります。この展示を見て虫こぶのことを知ると、たくさんの虫こぶが目飛び込んでくるようになるかもしれません。

第11回博物館まつり～サークル活動展示発表会～準備中

平塚市博物館では、多くのサークルが様々な活動を行っています。活動を通して、参加者の資質を高め、個人として学ぶだけでなく、調査・収集の面でも多くの成果を挙げています。「博物館まつり」はそういったサークルの活動や一年間の成果を紹介する展示です。今年は11のサークルが展示を行います。この機会に多岐に渡るサークル活動の一端をご覧ください。

参加グループ：古代生活実験室・お囃子研究会・古文書講読会・石仏を調べる会・平塚の空襲と戦災を記録する会・展示解説ボランティアの会・天体観察会・星まつりを調べる会・水辺の楽校生きもの調べの会・民俗探訪会・神奈川キノコの会（順不同）

■開催期間：2010年2月13日(土)～2月28日(日)

■成果発表会：2月20日(土)13時～16時 ※実演など詳細については、次号でお知らせします。



真剣な顔で話し合いをする実行委員（第3回実行委員会）

1~4	年始休館	
7 木	展示解説ボランティアの会	講堂
8 金	古文書講読会	講堂
9 土	☆ 寄贈品コーナー「虫こぶの世界」 ～2月14日	寄贈品コーナー
	古代生活実験室	科学室
	地質調査会	特研究室
10 日	天体観察会	科学室・屋上
14 木	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
15 金	石仏を調べる会	館外・土沢地区
16 土	古文書講読会	講堂
	○ 公開セミナー「古代の鉄生産」	教育会館
	○ 自然教室「ミジンコのペーパークラフトを作ろう」	講堂
17 日	天体観察会	科学室・屋上
	◎ ろばたばなし	相模の家
	相模川の生い立ちを探る会	館外・横須賀市 (雨天：科学室)
20 水	平塚の古代を学ぶ会	講堂
	民俗探訪会	特研究室
21 木	裏打ちの会	科学室
22 金	展示解説ボランティアの会	講堂
23 土	古文書講読会	講堂
	○ 考古学入門講座「城の考古学 その2」	講堂
	星まつりを調べる会	科学室
	地質調査会	特研究室
28 木	天体観察会	科学室・屋上
	石仏を調べる会	特研究室
29 金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
30 土	お囃子研究会	講堂
	地域史研究ゼミ	特研究室
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
31 日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

自由参加行事

◎ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。
日 時：1月17日(日) (1)午後1時20分～ (2)午後3時～
場 所：展示室 1F 民家 (参加自由)

◎星を見る会「月と火星」(雨天・曇天の場合中止)

望遠鏡で月面と火星を観察します。
日 時：1月29日(金) 午後7時～午後8時30分
場 所：博物館屋上・科学教室 (参加自由)

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会「古代の北極星」

プラネタリウムを会場に、数千年前の星の動きを解説します。
日 時：1月31日(日) 午後3時20分～午後4時30分
場 所：プラネタリウム (参加自由)

特別展示室

☆平成21年度「地域速報展

相模国府の発掘調査－神明久保遺跡・湘南新道関連遺跡の成果－

期 間：1月24日(日)まで
場 所：特別展示室
内 容：神明久保遺跡と湘南新道関連遺跡の発掘調査成果を公開します。
共 催：財団法人かながわ考古学財団

4 木	展示解説ボランティアの会	講堂
5 金	古文書講読会	講堂
6 土	☆ プラネタリウム「銀河のムコウ」 ～4月4日まで	プラネ
	天体観察会	科学室・屋上
7 日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
12 金	古文書講読会	講堂
13 土	星まつりを調べる会	野外
	☆ 博物館まつり ～2月28日	特別展示室
14 日	地質調査会	科学室
	平塚の古代を学ぶ会	講堂
17 水	☆ 寄贈品コーナー「平塚古墳情報」 ～3月30日	寄贈品コーナー
	民俗探訪会	館外・小田原市
	裏打ちの会	科学室
18 木	展示解説ボランティアの会	講堂
	☆ ミニ文化祭「里地里山から食文化を考 える～人と自然の関わり～」 ～3月16日	情報コーナー
	古文書講読会	講堂
19 金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
20 土	古代生活実験室	科学室
21 日	◎ ろばたばなし	相模の家
25 木	石仏を調べる会	特研究室
26 金	古文書講読会	講堂
27 土	○ style-3「プラネタリウムコンサート」	プラネ
	お囃子研究会	講堂
	地域史研究ゼミ	特研究室
28 日	◎ 平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
	地質調査会	科学室

寄贈品コーナー 情報コーナー

☆寄贈品コーナー「お正月の神さま」

期 間：1月7日(木)まで
場 所：平塚市博物館 1階寄贈品コーナー
内 容：正月のしめ飾りや年神札、正月行事の写真などを
展示します。

☆寄贈品コーナー「虫こぶの世界」

期 間：1月9日(土)～2月14日(日)
場 所：平塚市博物館 1階寄贈品コーナー
内 容：植物にできる「こぶ」のうち、昆虫が原因のもの
を中心に紹介します。

☆企画展示「深海・相模湾に潜る」

期 間：12月2日(水)～1月31日(日)
場 所：平塚市博物館 2階情報コーナー
内 容：昨年、海洋研究開発機構の潜水調査船で相模湾に
潜航し収集した岩石・生物試料や映像を基に、深
海・相模湾の様子を紹介します。
共 催：海洋研究開発機構

プラネタリウム一般投影

☆「2010年の天文現象」

西暦2010年の天文現象を紹介します。
投影日：1月31日(日)までの
土・日曜日の午前11時～午後2時
観覧料：100円(中学生以下無料) 定員86名